

「カンピーナス知的障害者総合診療センター医療機材整備計画」署名式



(左から) プロドッシモ会長と西林総領事



署名式の参加者

2007年11月13日、当館において、カンピーナス APAE に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をセルジオ・プロドッシモ会長と当館西林万寿夫総領事の間で行いました。式典にはプロドッシモ会長他6名の同団体の関係者が出席しました。

署名後、西林総領事は当館内の草の根無償等の実績を紹介しつつ、「本年度より生徒以外の一般知的障害者も対応することになり、医療機材が数・質的にも不十分であり、患者を断らざるを得ない状況に直面していると報告を受けた。この度の我が国の無償資金協力により、より多くの患者さんを受け入れ適切な診療・治療が行えるようになることを期待している」旨挨拶しました。

プロドッシモ会長からは、「カンピーナス APAE は本式典に出席しているサデル氏等により 1965 年に設立された。設立当初により質の高いサービスを行うよう努めてきたが、日本の協力のおかげで今後より良いサービスが提供できることになりうれしく思っている。総領事館を通じて日本国民に感謝したい」旨謝意を述べました。

案件名：「カンピーナス知的障害者総合診療センター医療機材整備計画」

被供与団体：カンピーナス障害者を支える親と友の会 (APAE)

プロジェクト実施地：サンパウロ州カンピーナス市

契約署名日：2007年11月13日

供与限度額：51,491 米ドル

案件概要：カンピーナス APAE は 1965 年に設立され、知的・身体障害者に対する教育（生徒数約 620 人）や医療行為（患者数約 710 人）を行っています。医療行為に関しては、本年度より生徒以外の一般知的障害者も対応することになり、同団体の施設を利用して実施してい

ます。しかし、医療機材が数・質的にも不十分であり、中古機材を活用し不足を補っていますが、機材不足等のため患者を断らざるを得ない状況にも直面しています。今回の我が国の無償資金協力により医療機材を整備することとしています。

供与品目：歯科診療セット（歯科診療ユニット、アマルガムミキサー、X線撮影装置、オートクレーブ、機材収納棚、等）、診療用テーブル・椅子セット、リハビリ用機材（平行棒、車いす、担架、立位訓練器、シャウカステン、フィジオロール、バランスボード、等）



中古の担架を改造して活用



車椅子等の機材は老朽化している